

# 令和2年度白滝荘居宅介護支援事業所事業報告書

## 1 運営方針について

介護保険法令の趣旨に従い、利用者が可能な限り住み慣れた居宅で生活ができるよう心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき、指定居宅サービス、保険医療サービス及び福祉サービスが、公正中立を原則と致し多様な事業者から、総合的かつ効果的に提供されるよう居宅サービス計画を作成し、自分らしく居宅での生活が継続できるよう支援することができた。

## 2 事業活動について

介護支援専門員が、利用者のその有する能力に応じ自立した生活が送られるよう、適切な支援を行い、利用者の生活の質の向上を目的に次のサービスを重点に行いました。

### (1) 基本事業

ア ケアプランの作成

イ 居宅サービス・介護保険施設・入院施設等の紹介及び調整

ウ 介護保険に関する申請等相談業務

### (2) 介護予防・日常生活支援総合事業

## 3 事業実績及び目標評価について

### (1) 基本事業 ケアプランの作成、介護給付(要介護1～5)

給付管理票請求合計 426 件、減算請求なし。(前年度 427 件)

月平均 35.5 件(前年度 35.5 件)

新規 14 件(前年度 21 件)

※給付管理票請求件数は昨年とほぼ変わりなく推移している。新規は前年比-7件であったが入院、入所が少なく長期の利用が定着したためだと思われる。しかし新規利用の相談が月に数件あったにもかかわらず対応できないことがあった。理由として独居老人の増、ニーズの複雑、多様化による対応が増えた為である。今後の課題だと思われる。

今年度は請求件数月平均 35.5 件、居宅の標準件数 35 件(人員基準 35 件に対して 1 人)に対して 100%達成している。

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	R2 年度	R 元年度
件数	36	33	35	35	37	38	37	37	37	33	34	34	(426 合計)	(427 合計)

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業(要支援 1、2)

請求合計 29 件(前年度 62 件)

月平均 2.4 件(前年度 5.2 件)

新規 1 件 (前年度 1 件)

※要支援対象者は昨年 of 比べ-33 減である。理由として要支援から要介護への変更、また新規の数が少ないことである。要支援対象者は基本、地域包括支援センターの担当であるため、新規の数は元々少ない。

居宅が新規を担当するケースは担当している要介護者が要支援者になった場合が大半で今年度は無かった。

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	R2 年度	R 元年度
件数	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	3	(29 合計)	(62 合計)

4 介護支援専門員の員数 (令和 3 年 3 月 31 日 現在)

常 勤		非 常 勤	
専 従	兼務(管理者)	専 従	兼 務
0 (人)	1 (人)	0 (人)	0 (人)

5 各種会議及び研修

令和3年4月1日より居宅の管理者要件が主任介護支援専門員であることが必要となった。今年度はその主任介護支援専門員更新研修を受け基準を満たしている。

また地域ケア会議に担当の個別ケースを提出し行政、包括、医師、警察、地域等の参加により綿密な連携をとり個別ケースに携わることができた。

各種会議及び研修

会 議 等 名 称	時 期	内 容(場所)
豊北地区民協・神玉地区定例会	7月16日	神玉公民館
豊北地区民協・滝部地区定例会	7月17日	豊北総合支所
豊北地区民協・田耕地区定例会	7月21日	田耕公民館
主任介護支援専門員更新研修	8月28日	オンライン
主任介護支援専門員更新研修	9月 8日	山口県セミナーパーク
主任介護支援専門員更新研修	9月24日	山口県セミナーパーク
主任介護支援専門員更新研修	10月 4日	山口県セミナーパーク
主任介護支援専門員更新研修	10月 9日	山口県セミナーパーク
主任介護支援専門員更新研修	10月15日	山口県セミナーパーク

主任介護支援専門員更新研修	10月30日	山口県セミナーパーク
主任介護支援専門員更新研修	11月 4日	山口県セミナーパーク
地域ケア会議(個別ケースの検討)	10月14日	豊北保健センター
豊北地区介護支援専門員部会(事例検討)	11月12日	豊北保健センター
運営会議	1回/月	白滝荘
職員会議	6回/年	白滝荘
調整会議	2回/年	白滝荘

## 6 新型コロナウイルスの応について

介護支援専門員が自ら感染源になったり、感染することがないように予防策を講じた。また関係機関と連携して利用者の感染症の有無を確認しながら業務を行った。